



大切な命を守るために

～みなさんに心からお願いしたいこと～

学校は毎日、保護者の方々にとって何にもかえがたい「宝物」である生徒の大切な命を預かっています。以前にもお話したように「行って来ます！」と朝、元気に家を出て来たみなさんを、夕方「ただいま！」と無事に家に帰すことが、もっとも大切な学校の役割だと思っています。▼先日も生徒総会の折に自転車に乗る際には必ずヘルメットを着用するようお願いをしました。今回はもう何点か、自転車に乗る際のみなさんへのお願いがあります。こういう文章にすると得てして読まれずに終わってしまうこともあるのですが、これは学校長としての心の叫びです。どうか最後まで読んでほしいと思います。▼**まず一番に伝えたいことは、みなさんは自分が想像している以上にずっとずっと、一人ひとりが大切な存在であるということ**を自覚してほしいということです。私の経験上、あなたにはあなたのことを心から大切だと思っている人が必ずいます。特に親は、いくら普段は「憎らしい」とあなたが感じることを言っていたとしても、誰よりもあなたのことを大切に思い、誰よりもあなたのことを愛していることを分かっています。▼私は21歳の時に母を突然死によって亡くしています。とにかく口やかましい母でした。亡くなる日の朝も当時、大学生だった私が通学する前に、生活の乱れについてあまりにもうるさく言うものですから終いには「うるさい！」と言って家を出てしまい、それが母との最後の別れとなりました。その1時間後に母は職場で倒れ、およそ2日間意識のない状態が続いた後、帰らぬ人となりました。5月8日、皮肉にもその日は母の日でした。▼言われたくないことをずけずけと言ってくる母のことを私は心底煩わしいわづらと思っていました。しかし、亡くなってから思い出すのは優しい母の姿ばかり…。「憎らしい」と感じた言葉もみな、私への愛情の裏返しだったのだと、亡くなって初めて気付きました。▼私には3人の息子がいます。少し前の話になりますが大学1年生だった次男が行く先も言わずに家を出たきり数日間、帰って来なかったことがあり、居ても立ってもいられない、夜も眠れないほど心配しました。幸い、無事に帰って来て胸をなで下ろしたのですが、もう成人している子どもにさえも親というのはこれほど心配するものなのです。▼中学生の頃の自分は「自分がどれほど愛されているか」



などと考えたことはなかったと思います。今、大切なみなさんを預かる立場に立って心から伝えたいのは「**あなたは本当に大切な存在であり、かけがえのない存在なのです**」ということです。▼このことを理解してもらったという前提で、本題に入ります。通学に限らず、自転車に乗る際は、ヘルメットを着用してほしいという事以外に、次のことにも注意を払って自転車に乗ってください。▼1つめは自転車のハンドルは『**両手が空いた状態で握ってください**』。朝のあいさつ時、時々、片手に荷物を持って自転車に乗っている人を見かけます。荷物が車輪に巻き込まれたり、ちょっとしたことでバランスを崩して転倒する危険があり、大変、危険です。大切な命を守るためにも両手が空いた状態でハンドルを握るようにしましょう。またこの時期は空気が冷たく、手袋なしでいると徒歩でも手がかじかみます。冷え込みの厳しい朝には痛みすら感じます。しっかりとハンドルを握るためにも『**冬季は手袋を着用**』してほしいと思います。また、『**登下校時、荷物が多きときには自転車通学を避けましょう**』。学校も極力、みなさんが持ち帰る荷物が少なくなるよう今後も努力していきます。▼生徒会活動の一環でアルミ缶回収への協力100%を目指していますが、『**自転車にかごが装備されていて、かごにすっぽり入る場合を除いて、自転車通学の人**はアルミ缶を持ってくるのは徒歩あるいは車で送迎してもらおうときにしてください』。キャンペーン中は『**持ってこようとした**』ことを本部役員に伝えた日を協力した日としてもらえるようお願いしましたので、このことも徹底してください。▼『**側道や家の扉などからは「いつも何か飛び出してくるかもしれない」と考えて運転しましょう**』。大抵の事故は「まさか」という時に起こります。まさかの割合を減らすには、万が一に備えた運転を心がけるしかありません。これは将来、バイクや自動車を運転する際にもきっと役に立つはずです。▼『**命を最優先した選択をしましょう。」「遅刻してしまうかも!?」そんな時は時間に間に合わせようとスピードを出さず、「遅れても仕方ない」と切り替えて安全第一の運転を心がけてください**』。遅れてお小言の1つや2つ言われるかもしれませんが、命の重さを考えれば絶対に慌てる必要はありません。▼ここからは保護者の皆様へのお願いです。たくさんの荷物を持って自転車に乗っている生徒を見かけます。その時々「気を付けて」と声はかけますが、「万が一、荷物のせいでバランスを崩して事故にでも遭ったら…」と思うと心配でなりません。自転車のかごに入れたり、背中に背負ったりしてもバランスを崩す程荷物が多い時はお手数をおかけしますが、送迎をしていただくか、徒歩で通学するよう、ご指導をどうぞよろしくお願ひします。